

気持ちよく歩こう！

仙太郎下駄 (実用新案登録No.3106354)

シューフィッターとして、また下駄屋三代目の経験と実績を活かし、現代病と言われる「浮き指、外反母趾、がに股」を改善し、正しい歩行が出来るように、仙太郎下駄を考案しました。

「わらじ」の大地をつかむ指使いを活かすよう、花緒は、足指が働きやすくフィットするよう工夫しました。花緒づれしないように、親指側を長く、小指側を短くしています。

履いてみてください。足指が心地良く、ちょきになります。ぐ～の足指で歩いてください。立ち止まってぱ～に伸ばしてください。

1日200メートルからのぐ～、ちょき、ぱ～ウォークを始めてください。足指で大地をつかむという働きが覚えられ、土踏まずの形成になります。

足の親指には「メカノレセプター」という、脳への刺激を伝えて、正しい運動をサポートするセンサーがあります。足指を使って歩くことによって、歩き方が良くなります。仙太郎下駄は、足首の歪みを正し、アキレス腱を適度に伸ばし、腰の位置が正しくなり、背筋が伸びます。



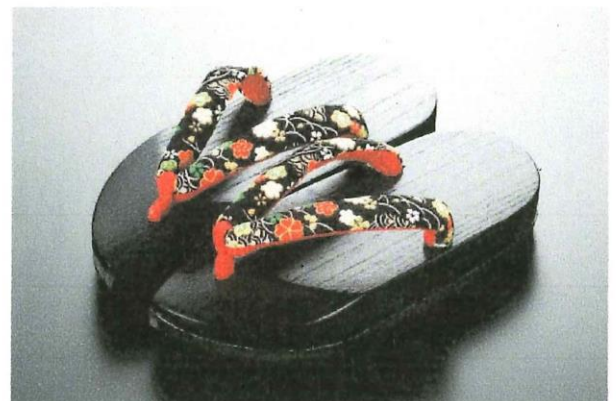
千両型

本製品は、山形県立米沢女子短期大学 医学博士 加藤守匡准教授の平成18年度ニューウェーブ研究創出事業の研究対象になり、次の事が明らかになりました。本研究では、新規開発された下駄（仙太郎下駄）が心身に及ぼす影響を生理・心理学的手法を用いて検討した。その結果から、従来の下駄に比較して高い運動機能を備えた履物であることが確認された。さらに、仙太郎下駄は歩行運動後に胃の電気活動を高め足部感覚入力や快適度を高めることが認められた。以上のことから、仙太郎下駄は履物として歩行運動に適していると共に、足部からの求心性入力及び胃の運動機能を高めることが明らかとなった。この要因として、仙太郎下駄の構造的な特性からその着用によりふくらはぎ、ヒラメ筋（アキレス腱とふくらはぎの間）といった歩行運動に重要な下腿筋群が伸張され、運動発現に重要な筋の、伸張—収縮機構を促進させたと考えられる。そして、このような下駄での高い運動効率が快適性向上にも貢献したと推察される。

ホームページも、ご利用下さい
www.sentarougeta.com

仙太郎下駄工房 青柳昌男

TEL・FAX 0238-52-0611
山形県東置賜郡高畠町高畠1960



仙太郎十型